

平成31年3月12日

日光市議会議長 斎藤伸幸様

日光市議会議員 生井一郎

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	エネルギーの地産地消新事例
会議等の 主催者の名称	全国地方議会議員勉強会
場 所	名称等：貸会議室プラザ八重洲北口 住 所：東京都中央区八重洲1-7-4
期 間	平成31年 2月15日(金)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>持続可能な暮らしのために自然エネルギー100%の世界をめざし、太陽光・風力・小水力発電に取り組む自然電力株式会社の「地域新電力を中心とした地域経済活性化」についての研修を受講した。</p> <p>自治体を中心とする発電設備づくりについては、自治体の保有施設(屋根)を活用した太陽光発電により電気代の削減や非常時電源の確保が可能になり、また地域内の法人・個人の屋根を活用して、電気の地産地消を促進して自給自足のエネルギーインフラが整い、さらに蓄電池の本格導入により電気自動車でのモビリティサービスなど、生活イン</p>

フラ構築についての内容であった。

自然電力株式会社ではメガソーラーの着工も手がけているが、開発が相次いだ影響で好立地が少なくなって、平成30年に長野県小布施町との取り組みより、地域新電力会社である「ながの電力株式会社」を設立し、小水力発電所を建設した。小水力発電は全国で出来そうな場所がたくさんあるので、今後専門チームを増員して行くとの事である。

日光市においては大規模な太陽光メガソーラーの着工は今後開発が難しいとも考えるが、小水力発電は期待のもてる自然エネルギーと実感した。